昭和24年2月5日



足支区政二二

ADACHI KUSEI THE NEWS

總務課文書係

足立區千住一ノ五〇 東京都足立區役所

行

發

電送草 4 4 0 電足立 3 8 4 7

6 號 第

派 黨

18 17 16 15 14 13 12 11 10 9 8 6 5 3 H で、東京都二十三區中第三位の好成績をあげえたこ好成績であつた。我が足立區の投票率は〇、六七五好成績であつた。我が足立區の投票率は〇、六七五数判所裁判官國民審査の投票率は前回の教育委員選裁判所裁判官國民審査の投票率は前回の教育委員選表る一月二十三日行れた衆議院議員選舉並びに最高去る一月二十三日行れた衆議院議員選舉並びに最高 國無民共社民 の天 松山長大小山熊 ○島 〇中 山 〇 とは、 〇キクナミカツ 左 別の投票率の一覧表を擧げて参考に供しよう。大といへよう。大に各候補者の區內得票及び各投票をいへよう。大に各候補者の區內得票及び各投票をはいへよう。大に名と帰るに参す認識の高まつた一の證 候補者氏名 所 林 小 島 新 足立區 西葉 屋瀨 野口 上口 橋 浦 野 本 西 井 藤左 補者足立區得票一 -<u>=</u> 八健 直 內久 善 2 四八二八九 一九七三一三 二三四〇〇七 二一四二七一 守 幸 公 京 0) Ŧī. 12/11 博 第一開票區(千 郎 助 義 = の投票率〇、六七五 工 命命 E 0 == 四、二七六 大、岩玉 一、長六 三六五 三公三 一、九三宝 一十三區中第三 一、五三〇 一、大 次當 點選 關 覺表 一)第二開票區 者者 all a 投無有 效 投 文票總 敷 数 数 数 数 票 六、七三六 三、公 二、短七 F/15 一、大大五 一、左三 、七五大 功 八 八 五一三 五五 3 (梅島)合 位 る 040,11 101 三、元 WINE IN 三、五九〇 五、二五六 六天0 大門の人 四三 一、一
全 四七 西三生支夷夷六

區內各投票所

衆議院議員選舉投票者等調

顧	位	投	票	DE LEA		當日		者數	投	票 者	數	棄權者數	投票率
PILA						男	女	計	男	女	育	計	計
	1	第34	新田	小`學	校	1.042	893	1.935	804	633	1.442	493	0.745
	2	第 4	千 壽 旭	小學	校	955	1.027	1.982	780	677	1.457	525	0.735
	3	第 5	干壽第	四小學	校	1.162	1.354	2.516	972	864	1.836	680	0729
	U	第12	千 壽 第	小小小學學學	校	3.749	3, 400	7.149	2.836	2.379	5. 215	1,934	0.729
	4	第 3	干 壽 第	四分	場	1.151	1.045	2. 196	851	741	1,592	604	0.724
	5	第 6	第第第	小 學	校校校場校校	2.605	2.545	5. 150	1.938	1.739	3.727	1. 423	0.723
	6	第 8	干壽第	か 學 二 小 學	校	2.031	1.800	3.831	1.501	1.254	2.755	1.076	0.719
	"	第10	亞立		中	1. 261	1.211	2.472	952	817	1.779	693	0 719
	7	第17		小 學	校	1.439	1.350	2.789	1.060	931	2.003	786	0.718
	8	第 1		八小學	校	1.469	1.175	2.644	1.037	860	1.897	747	0.717
	19	第 2		小 學 小 學	校	2.340	2.148	4.488	1.745	1.463	3.203	1.280	0.712
	10	第20	栗原		校	1.090	1.058	2.148	797	700	1.497	651	0 696
	11	第24	東淵江		校	1.710	1.482	3.192	1. 299	918	2.217	975	0.694
	10	第29	伊興	小 學	校	801	818	1.619	629	496	1.125	494	0.694
	12	第13	千壽第	五小學	校	4. 390	4.027	8. 417	3. 187	2.612	5.799	2. 618	0.688
	13	第11	柳町	柳盛	會	1. 121	1.199	2.320	810	784	1. 594	726	0.687
	14	第33	柳宮城等	小學	校校	1.848	1,601	3, 449	1.301	1.053	2.354	1.095	0.682
	15	第7.	千壽第	一小學七小學	校	3.338	3, 282	6.590	2.409	2.028	4.43	2. 153	0.673
	16	第 9.	干壽第	七小學	校校	1. 201	1.152	2.353	895	688	1.583	.770	0.672
	17	第14	梅島	小 學	校	2.691	2.260	4.951	1.825	1. 506	3, 331	1.620	0 672
	17 18	第15		二小學	校	2.511	2.321	4.832	1.755	1.454	3.209	1.623	0.664
		第18	本 木 。	小學	校校	2.442	2.390	4.832	1.803	1.384	3 192	1.640	0.660
	19	第19	西梅 島原 野 第 第 第 第 第 第 第 第 第 第 1 1 1 1 1 1 1 1 1	小小學學	校	3.502	3. 453	6.954	2.548	2.047	4. 595	2. 359	"
	20	第21	梅島第	一小學	校	1.990	1.833	3.822	1.410	1.095	2. 505	1.317	0.655
		第26	關 原 町	小瓜分	校	4.008	3.611	7.619	2. 733	2.217	4.953	3. 666	0.650
	21	第25	長門町	集合	所	2.510	2.320	4.830	1.719	1. 421	3. 140	1.690	"
	22	第26 第23	區 立	+ =	中	1. 171	1.008	2. 239	809	633	1.442	797	0.644
	23		弘道	小 學	校	1.624	1.613	3. 237	1.184	858	2.042	1. 195	0.630
	24			小小小 學學學	校	1.622	1.650	3.272	1.160	876	2.036	1. 236	0.622
	25		江北	小 學	校	1.940	1.711	3.651	1.290	955	2. 245	1. 406	0.614
	26	第31	東洋鹿濱	學	園校	836	768	1.604	585	394	979	625	0 610
	27	第27	鹿 濱 畑	小學	权	1.020	1.088	2. 108	733	539	1. 277	831	0.605
	28		16 周 6	小 學 小 學	校	1.758	1. 181	3.569	1. 296	769	2.065	1. 504	0.578
		1300	舍 人	小 學 學計	校	601	633	1 233	401	189	590	643	0.478
	1		<u> </u>	ar		04. 899	61. 094	125.963	47.136	37.982	85. 118	40. 875	0.675

既に東京都には二ヶ所建設

軒茶屋貯蓄實踐郷の建設があ をみているが世田谷區にも三

「實踐郷の建設 新生活の實踐 第十六出張所管內保木間 から は 貯 蓄

淵江貯蓄實踐鄉 實現も近い。 を中心に貯蓄實踐郷の (假稱)の

生れる日も近いく こと、思はんるのでちょつと これを解説してみよう。 いふ言葉に耳馴れぬ人も多い 讀者の中には貯蓄實践郷と

新生活の實践によつて古い

防止を圖り日本經濟復興に積 より生産の復興、インフレの を貯蓄實踐郷と呼ぶ。 住民の集まりである一定區域 極的に寄與しようとするこの 精一杯働き冗費を含くことに 言葉であるが勘儉貯蓄に努め

町を中心とする有志の集まり されるとき本都の呼び掛けに 日本經濟復興が積極的に企圖 應じて忙しい年の瀨にもかゝ わらず立ち上つたのが保木間 濟九原則完全實行による

迄もつて行く仕事が残されて 貯蓄組合が各地區に結成され 得て實踐郷の骨子となるべき を興へ血を通はせて實践郷に て、あとはこれに総横の連絡 であつた。 る丈けとなっている。 舊臘來地元居住者の賛成を ましては、一直ちに工事を極明

活が向上し日本經濟復興にも 運動に積極的に協力するため 役立つて行くわけだ。 表裏一体を爲して各個人の生 活の改善、貯蓄の實行これが 足立區役所區民係ではこの 貯蓄質踐郷! こいでは生

會と映画の會を催すことになっている。 り、二月勿々新生活料理講習 本都民生局と密接に連絡をとしまつて淵江貯蓄實踐郷、假稱)

めに關係當局においてはいろ このほか居住者の利益のた 1の協力体制を整えている

井

口整

科

病

院

つている。

の近く實現されるのを期待し そして地元の盛り上る意欲を

14

開

ました。 水場の新設工事が再開せられ 本區住民の久しく待望してお が今般これに引つづき元宿排 障なき程度に完成致しました したる通り先般一應排水に支 本紙をもつて御知らせ致しま りました裏門堰排水場は鍵に

り着々その成績を擧げている この元宿排水場は干住櫻木町 となりましたために途に工 資材勢力等の需給極めて困難 たが、漸次戦争は苛烈を極め 後終戦しなり。東京都に於き つたのであります。然るに其 事を中止するの止むなきに至 る悪條件を克服して、これが に依り工事に着手戦争下總少 起工致し同八年三月請貧施工 都市計畫經續事業費をもつて 十七年元東京市土木局に於て れるのでありますが實は昭和 完成に努力せられておりまし 元宿圦の突端荒川邊に新設さ され、目下地元金澤組の請負 に依り着々と工事は進められ 本排水場の着工が愈々具体化 今般裏門堰排水場が一應竣成

集中せしむる關係上、再び工 つた次第であります。 ため、主力な裏門寝排水場に たるも数算型に資材不如意の 漸く殘部工事の築造に着手し 温飢に事業計畫樹たず、昨年 種々霊策したるも終戦直後の し、區民の要望に應ゆべく、 事を中止するの余儀なきに至

請求して下さい。

電

話足立三〇九二番

足立區千住壽町九四沿地

二一八ヘクタール(三八町歩) げますと、口徑五〇〇年、上 でありしす。又動力は三、〇 水場の負擔する排水面積は約 米(約三、〇石)で、この排 の排水量は毎秒〇、五五立方 軸流ポンプー台を装備し、其 〇〇ボルト四〇キロワツト三 本排水場の設備の概要を申し つゝあります。 とになっております。

る が課税され所謂正直者が馬鹿 を見るという不合理な結果と は正直に届出なした者ばかり できるのであります。これで れの数も相當あるものと豫測

致したので、これに引つづき この目的達成のため區に臨時 本支所の兩稅務課長が當るこ に分れ部長に助役、主意には 家屋調査部を設け部は主査と 會を與へることになります。 ものであります。 に收入の増加を計らうとする 課徴收をして區民の納税思想 より課税洩れた防ぎ適正な賦 以上のような事情で本調査に に對する觀念を歪め脱税の機 するばかりでなく、國民の税思想を阻害 班に分け班は更に企畫と調査 **を昂揚し併而逼迫した區財政**

この内屈出の敷は極めて少敷 で多くは未届で從つて課税洩 水場の完成の曉は千住元町、 同柳町及龍田町、大川町等の に從い増加していますが、 後家屋の新築堵築は年を追う の二ヶ月間行うこと、なりま であります。隨いまして本排 した。此の調査の目的は終戦 査を二月一日より三月末日迄 今回本區に於いて臨時家屋調 底温市街地の雨水排除に與っ 相誘導電動機一台裝備の計畫 て力あるものと思ひます。 臨時家屋調査始まる りましたら、係員に提示方を を受けて、臨時家屋税を賦課 すから若しも御不審の點があ お税務署から賃貸低格の設定 には不動産取得税を賦課しな われ、未届の新築墳築の家屋 て調査員證を持参して居りま いたします。なお調査員は総 し、調査員はこの調査表によ 段階に別れ準備調査は稅務署 て實地調査に續いて整理が行 票を貼付することになってい 調査濟の家屋には總て調査濟 り區内の全家屋戸押調査をし 實地の雨調査並びに整理の三

赤 元

門面

隣 跡

方

舘

調 酒

味類。 類

壜

罐

請。 油。

·味噌·醬

伊

勢

元

有

馬

健

でありまして、審査完了次第 者は八五一一八名であつた。 最高裁判官國民審宣の總投票 委員會において、慎重密査中 十三日執行衆議院議員選舉並 應募者相當数あつたので當 さきに懸賞募集中の一月二 總投票者 投票した人は 縣 八五一一八名 何名か?

調査の方法としては準備及べと上げます。 民各位の絶大な御支援を得ま こと、本懸賞募集に對し、 が第三位の投票率を示し **愛表いだします。** しかことかこ、に厚くお體中 なお二十三區中おが足立區

Ш

日 新火災保險

住代理店 株式會社

F

儿 足立區干住大川町四番地 澤 敬 光

狹 電話足立二二六四番 良 よ 0 海 苔

區役所各出張所並本紙次號に

砂 電話足立二八七九 千住壽 小林勇太郎 町七 袁

一日 現在 の現勢

世帶

111 帶

五八、八一五

前月より八五世帯滅

|四六、二六二 {女

二二四、七〇二五五四

一月

品

人口 Ł 人口

前月より一、〇一〇人増

が行れます 特別滯納整理

都税區税未納の方は 早く御納め下さい。

財政の克服を計るのが目的で 强い要望もあり、徴收の増加 滯納の整理については、都の 迄行われること、なりました 行して二月一日より五月末日 特別滯納整理が家屋調査と併 により逼迫してる都及び區の

件に昻る滯納を一掃しようと 東京都及び區の他係の一部の するものであります。 應援を得て强力に推進約七萬 本所支所の兩整理係を中心に あります。

滯納整理成績は二十三區中第 昨年十二月末に於ける本區の たことは係の日頃の努力は勿 地域的に惠まれの本區に於い 七位の好成績を學げました。 特別の御協力の結果と厚く感 論のことながら納税者各位の て、このような好成績を收め

日 く期待いたします。 ならば必ずった 成績を繋げられるものと深 前回にも増し 7:

(保健所便り)

.生指導を實施中でありますが 理容所(理髪美容)の一齋衛 部並に都衛生局の指示により 保健所の衛生課では東京軍政 理容所の一齋衛生指導

の劉期的向上を目的とする法 公衆衛生上寒心に堪えません このま、の放置は理容師資格 甚だしく低下しております。 の精神に反するばかりなく、 業者中半數以上は衛生狀態が

さす。 るため、業者の方々、區民の 指導を實施いたす方針であり 。保健所としては今後は毎月 皆様の御協力を切に御願いい 一回以上理容所に對する衛生 公衆衛生の完璧を期す でか期間として强調運動を實 月二十五日より二月十日

配

給

入出來ます。 號で一世帶一ポンドの割で購 家庭用品購入通帳一日第四 魚類罐詰の 西己 給

五三圓八七錢より 八八圓四〇錢(稅込)

又は母子手帳を提出して購入 希望者は出張所へ如産婦手 明書が入用でしたが二月分よ 劵を受けて下さい。 り不用になりました。 從來育兒用乳製品は醫師の 配給手續變更につい 7 證

强調運動 嚴寒季薪炭配 給

について御協力下さい。 皆様の燃料獲得の爲左の事項 施しています。 、所定購入券へ検印の促進 配給豫定日(小賣店より通 受けて下さい。 檢印期間内には心す檢印を 計畫配給の引取促進

出

産及び病人用

納税者各位の御協力を得ます

なお今回の特別滯納整理にも

たします。

足立保健

所

謝の至りに堪えません。

備して置くこと。 知する)までに代金等を進 分割配給希望は豫め小賣店

連絡しておくこと。

價格 一ポンドにつき

育兒用乳製品

薪 0 特 配

家庭へ特配になります。 冬山増産増送による新が 小賣店へ連絡して下さい。 所定の購入券へ檢印を受けて 世帶 普通薪(一、六尺 般

この計畫配給で本年度の配給 が完了した事になります。 (三〇瓩人) 五俵

の割合で薪炭が配給になりま すから希望者は出張所 十一月一日以降出産した人及 急性肺炎等に困る病人に左 炭配給 八申出

その旨お申出下さい

元三軒家通り土手千住高砂町一二

へ連絡して下さい。 購入劵へ檢印を受けて小賣店 薪の配給があります。所定の 二十三年度第三回木炭第四 家庭 燃 料 0) 配 回

四人一十人 一俵 に四人一十人の基準 はその端敷を増す毎 十一人以上は十人又 一人一三人 华俵 家庭漬物用盤の特配かあり 鹽

人

四〇〇五

0

特

配

七人一十人 六束 に一俵を加算する。 十一人以上は五人又 一人一三人 二束 店より購入して下さい。 擅購入券「三」により塩小賣 について 鹽の豫約購入 一般家庭

豪

はその端敷を増す行 に二束を加算する。 に七人一十人の基準 での分と今度特配の分を二月塩の需給調整整理の爲三月ま 200 二十日までに塩小賣店へ豫約 し三月末日までに購入して下

就學通知書 |月||日ヨイコの入學 着きましたか は

東、又はガス用薪 ×二、五尺)二〇 通知書が發送されてゐますが この就學見章の保護者冤就學 月一日迄に生れた兒童です。 するヨイコ達は昭和十八年四 學令兒童調査後の轉入出區內 た保護者の方々はその區域に 住んでゐて就學通知が無かつ 得るので昨年十二月十五日以 應じて區役所又は梅島支所 降に轉入したり或は以前から 移動等により通知漏れもあり

寧叮速迅

式屏對 請風立 負

致します

清

水

表

具

店

スポーツ用具 新生の お菓子とコーヒーの店

卸 部 小賣部

本年四月一日小學校へ入學

PU

千住3-3. TEL足2102 鈴木商事株式會社

は母子手帳を病人用木炭は醫 師の證明書を御持参下さい。 なお出産用薪は姫産婦手帳又 # 電話 浸草 (84) 年 (

3

て購入券を受けて下さい。

病人川

木炭半俵

二東

出產川薪

より別表の課率で賦課される

1

ものであります。

業用、

或は自動車の種類等に

納

期

利であるとも間はれると存じ

自動車税であり、自家用、事

とは一般に謂はれている處の

3

其の他特別の事由の

ある

要と認めたもの。 動車であって都知事が必

ものの

の自動車に對するもの

3

自動車の取得に對するも

2

公益の為直接供用する自

2 1,

自動車の使用に對するも

1,

自動車。

自動車に對するもの

自動車をその所有者以外のも

との出來ないものの所有する か或は他の地方税を課するこ

1,

自動車の所有に對するも

0

課

桽

ものとは、國とか地方風体と

2、の自動車使用に對する

2

自動車取得に對するもの

先は次の通りであります。

自動車に關する届書の提出

毎年五月一日より末日迄 自動車に對するもの

のであります。

3、の自動車の取得に對す

普

東東田 事業用 自家用 賞三ル四乗 貨で乗乗り 自家用 田助論

輪用物他合用

八、五〇〇圓

るものに對し、賦課されるも のが使用して收益を擧げてい

通

物

〇、五〇〇圓 八、〇〇〇圓

六、000圓

用

動車

稅

種

類

洲の査定所に於て査定された

この場合の時質とは鮫

小

用物

三八〇〇 三、八〇〇圓

輪

回だけ賦課されるものであり 時價の百分の一二の割合で一 由で自動車を取得した場合、 るものとは譲渡、其の他の事

型

七

、五〇〇圓

脳役所に來て、それによって

所からの通知が都慮を通じて

た謂います。 つまり査定

特

殊自動車

特殊作業用六、OOO圓

區の台帳に在籍を記入すると

割

雁

被けん引車、

各種別の五

稅 金 3 私 達 0 生 活

2

車の使用に對するも

3

都 稅 0 話

其の五

あります。 同時に取得税が賦課するので

商品であって使用 しない

に成つて居りますが、これは 金に比較して割に高額なもの かいります。 この様に自動車 税は他の

本税一圓に付三十錢の割合で ら、この外都市計畫稅として 以上は普通税であります の時價の百分の十 の各種別の七割 動車の取得に對する

道路が良く成り自動車の破損税金を支拂つても現在の凸凹 られるわけであり。又納税者 謂ふ事は特に有利な條件と見 がそれだけ少く成ればより有 の側からもたとえ一萬二萬の 我國に於ては自動車の利用と メ式洋裁教授

生徒募集

受付 二月 ョリ(受付順) 主任教授 吉野斐子 一日 師範科 本科 速成科 入學 四 月 五 H

明るい學院、自由な研究、近代施設 和かな雰圍氣の違れる本學院へ入學をお勸めします 必つ皆様の御幸福が約束されること、存じます

等 洋裁學院電話是立二四二七番。 が生高足立區千住ニノ 洋 二重

し札たか	消車	た變	載電電電記	は錄	合登自 録動 た車	
と破損亡	・しの登録	變置又の所更所は住有の定所者	途種變重	きした所	しの た新	分
自動車	自動車、	置所 場有 者	更種 魚類	(取 自動 車 車	の取得は、所有事	屆
鑑札再	 廃車 届	變生 更届 (又は用	数は高温	対 が が る 対 る	
交付願		又 は定	途) 變	600)	600	書
=	=	=	=	==	= =	通數
右に同	右に同	へ所道 飯車路 田輛里	自動車	右右に同同	(記別) 課稅 開 期 期 車	提
٢	٢	町課送 監理	盤札交	CC	之 本 類 哲 世 類 哲 世 類 哲 世 初 五 か の の の の の の の の の の の の の	出
-	and the same of th	事務	付所		知所以所	先

足立區西新井町一六七 三和護謨 其ゴ履工醫 山物業療 他管用用用 品製ムゴ Fi.

諸印刷と文房具 織 北電干 田 足三七六七二 干住美觀商店街 印 刷

所

電話足立合三八〇

通番玉

預 は 金 な 中小商工業者の金融の相談は

足立區內の庶民金融機關である

足 組 立 用 合 庶民金庫足 代 理所 T.

電話足立二七七二番 足立區干住一ノ五五番地

區の發展は街の繁榮から.

街の繁榮を背負つてたつ 千住驛前通りの 北

生

みなさまがたの 洋品と洋装と生地の店

北千住驛前美觀商店街 電足2427

齒 得業士 顧 科 診療所 問 京醫科齒科大學 健康保險醫 重 重 松 電足二〇八三河原町七一 千住壽町八二 松 勝 八 幸 郎

取締 石 黑製菓 心役社 株 電干 足住 長 式 Ξ 立. 增 二七 T 會 田 月 艷 四五 社 0